

2024年度

ニチイキッズいま保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月6日（月）～1月30日（木）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月5日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども達の個々の成長に合わせ、その子らしさを大切にしながら丁寧に愛情をこめて寄り添える保育に努めた。
子どもの発達援助	個々の子どもの姿や発達、背景を把握し、全スタッフで連携を図り子どもの最善の利益を考え発達支援を行った。子どもが主体的に活動できるよう、子どもと同じ目線に立ち、言葉を引き出すような声掛けを意識し、興味関心に応じて探求心が膨らむ活動内容の充実に努めた。
保護者に対する支援	送迎時に園での様子を具体的に伝え成長を共に喜び合い、保護者の抱えている悩みに寄り添い、思いを汲み取りながら丁寧な支援を意識して取り組んだ。
保育を支える組織的基盤	子どもの育ちについて、職員会議や全体ミーティングで共通理解を深め、日々の気づきを共有する機会を多く持つ事が出来た。またスタッフ間の連携がスムーズに行い子どもの様子を共通理解し保育の実施、課題に対しても迅速に協議し保育の質の向上へ務めた。

総評
園内での情報共有を意識した会議のみならずミーティングを行い、子どもが出している小さなサインに迅速に対応し丁寧な保育へと繋げていくことが出来た。保護者からの相談や日々の子育ての悩みを気軽に相談できるように、互い声を掛け合い信頼関係の構築を図りたい。外部研修に意欲的に参加し、全スタッフで共有する事で知識を深め、子どもの最善の利益を考えた「子ども・保護者が安心して楽しく過ごす事の出来る園」作りを引き続き取り組みたい。